

立命館経済學

第十六卷 第一号

昭和四十二年四月

内 容

論 説

- 戦後炭鉄労働運動の展開過程（上）……………戸 木 田 嘉 久 1
A. スミス，D. リカアドオ，J. S. ミルにおける
税理論の展開（V）……………箕 浦 格 良 46
—古典学派における財政思想（II）—

資 料

- 商業都市の市民所得……………建 林 正 喜 66

書 評

- 内田義彦『資本論の世界』……………岡 崎 栄 松 102
学界動向・共同研究室……………117

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十五巻・第四号

論説

エネルギー問題の所在……………有沢広己
スウェーデンにおける「ケインズ革命」論考……………浜崎正規

A・スミス、D・リカードオ、J・S・ミル
における租税理論の展開 III……………箕浦格良
——古典学派における財政思想(12)——

海外留学記

ソヴェト旅行雑感……………岡崎栄松

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第十五巻・第五・六号

論説

法人課税の発展史的考察(上)……………加藤睦夫
資本自由化と中小企業……………武藤守一
社会主義的分配関係の本質について(→)……………小野一郎

A・スミス、D・リカードオ、J・S・ミル
における租税理論の展開 IV……………箕浦格良
——古典学派における財政思想(13)——

資料

工業都市の市民所得……………建林正喜
学界動向・共同研究室

発行所 立命館大学経済学会